

令和2年度(2020年度)

管理事業名	医療政策事業			総合計画の体系	大綱 3 政策 4 施策 3	福祉・健康 健康・医療のまちづくり 地域医療体制の充実
主な歳出 予算科目	会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費	(目) 1 保健衛生総務費
部局名	健康医療部	予算執行所属	健康まちづくり室、保健医療室			
予算大事業名 医療政策事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
事業の目的と概要 吹田市医療審議会を開催し、救急医療や在宅医療をはじめとした地域医療の充実を図ります。 地方独立行政法人市立吹田市民病院が担う政策医療等に要する財源を措置することにより、救急医療等を確保します。 豊能医療圏に属する4市2町(吹田市・豊中市・池田市・箕面市・豊能町・能勢町)が共同で設立した「豊能広域こども急病センター」の運営費を負担することにより、休日及び夜間の小児救急医療を確保します。 豊能医療圏に属する4市2町(吹田市・豊中市・池田市・箕面市・豊能町・能勢町)が共同で実施している救急医療対策事業の経費を補助することにより、二次救急医療体制を確保します。						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標の定義
かかりつけ医を有する人の割合	%	-	H28年度調査 55.3	R2年度調査 57.0	「医療に関する市民アンケート調査」(4年に1度)でかかりつけ医がいると答えた人の割合
地域医療推進に関する講演会の開催数、参加者数	回 人	1 107	-	-	吹田市地域医療推進市民講演会の参加者数
豊能広域こども急病センター吹田市民の受診患者数	人	6,467	6,389	2,039	全体の受診患者数のうち、吹田市民の延べ受診患者数
豊能二次医療圏救急医療対策事業の補助金対象病院における時間外受入患者数	人	10,170	10,167	9,680	豊能二次医療圏救急医療対策事業の補助金対象病院における延べ救急患者受入数(市立吹田市民病院、済生会千里病院、済生会吹田病院、井上病院、大和病院、吹田徳洲会病院、協和会病院)
成果の説明	多くの市民がかかりつけ医を持つことにより、医療機関の適正受診へと繋がりが、効率的な医療提供体制を構築することができます。 地域医療に関する講演会に参加することで、医療機関の役割や在宅療養という選択肢を知り、考えていただくことを目的としています。(令和元年度及び2年度は新型コロナウイルスの影響により中止) 豊能広域こども急病センターの受診患者数のうち吹田市民が占める割合は、例年、豊中市に次いで多く全体の約23%を占めており、休日及び夜間の小児救急医療提供体制の確保につながっています。 豊能二次医療圏救急医療対策事業の対象病院に財源を措置することにより、救急患者の受入体制の確保につながっています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	2,716	2,716
府支出金(経常費用充当)	-	-	27	27
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	500	500
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	3	3
その他	-	-	234,124	234,124
経常収入 小計(a)	-	-	237,370	237,370
給与関係費	-	-	210,320	210,320
物件費	-	-	6,318	6,318
維持補修費	-	-	1,395	1,395
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	-	1,422,458	1,422,458
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	-	-	18,208	18,208
退職手当引当金繰入額	-	-	△5,654	△5,654
支払利息	-	-	516	516
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	-	-	1,653,561	1,653,561
経常収支差額(a)-(b)=(c)	-	-	△1,416,192	△1,416,192
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	-	-	△1,416,192	△1,416,192
一般財源充当額	-	-	1,854,562	1,854,562
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	-	-	438,371	438,371

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
負担金・補助金・交付金等	地方独立行政法人市立吹田市民病院に対する運営費負担金1,138,817千円、豊能二次医療圏救急医療対策事業運営費補助金分負担金14,678千円、豊能広域こども急病センター管理運営費負担金52,071千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	-	-	237,370	237,370
行政サービス活動支出	-	-	1,677,008	1,677,008
行政サービス活動収支差額	-	-	△1,439,638	△1,439,638
投資活動収入	-	-	470,700	470,700
投資活動支出	-	-	840,000	840,000
投資活動収支差額	-	-	△369,300	△369,300
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	45,624	45,624
財務活動収支差額	-	-	△45,624	△45,624
収支差額 合計	-	-	△1,854,562	△1,854,562
一般財源充当額	-	-	1,854,562	1,854,562
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動支出) 市立吹田市民病院運営費負担金 1,138,817千円
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市内二次救急病院内の受入救急患者1人あたりのコスト	平成30年度	10,170 人	1,443 円	経常経費のうち「豊能二次医療圏救急医療対策事業に係る負担金」(14,678千円)を「実績」で割り、円単位で算出しています。
	令和元年度	10,167 人	1,458 円	
	令和2年度	9,680 人	1,516 円	
豊能広域こども急病センター利用市民1人あたりのコスト	平成30年度	6,467 人	557 円	経常経費のうち同センター管理運営費負担金(52,071千円)を「実績」で割り、算出しています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、受診患者が激減し、設備や人件費等に係る経費の削減に努めたものの、1人当たりの単価が増加しています。
	令和元年度	6,389 人	809 円	
	令和2年度	2,039 人	25,538 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	-	63,832	63,832
未収金	-	-	-	地方債	-	45,624	45,624
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	-	18,208	18,208
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
事業用資産	-	-	-	有形固定資産	-	657,949	657,949
土地	-	-	-	固定負債	-	493,027	493,027
建物・工作物	-	-	-	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	-	164,921	164,921
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
インフラ資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	-	721,781	721,781
建物・工作物	-	-	-	純資産	-	2,979,063	2,979,063
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
固定資産	-	-	-	図書館資料	-	-	-
重要物品	-	-	-	投資その他の資産	-	3,700,844	3,700,844
図書館資料	-	-	-	出資金	-	3,300,844	3,300,844
投資その他の資産	-	3,700,844	3,700,844	長期貸付金	-	400,000	400,000
基金	-	-	-	基金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
その他債権	-	-	-	その他債権	-	-	-
資産の部合計	-	3,700,844	3,700,844	純資産の部合計	-	2,979,063	2,979,063
				負債及び純資産の部合計	-	3,700,844	3,700,844

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

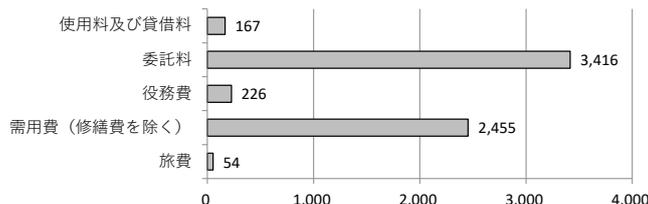
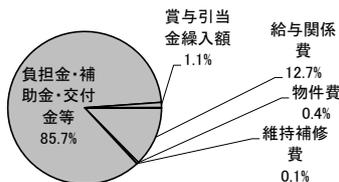
事業従事人数	常勤・再任用	会計年度任用等	特別職非常勤	合計(千円)
	月平均	年間従事延日数	年間従事延日数	
27.8人	294日	6日		222,874
給与関係費等	219,960千円	2,860千円	54千円	
内、時間外勤務手当	8,655千円			

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		-	-	72.4	72.4

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものについては、負担金・補助金・交付金等1,422,458千円(85.7%)、給与関係費210,320千円(12.7%)となっています。負担金・補助金・交付金等の内訳は、地方独立行政法人市立吹田市民病院に対する運営費負担金1,138,817千円、豊能二次医療圏救急医療対策事業運営費補助金分担金14,678千円、豊能広域こども急病センター管理運営費負担金52,071千円となっています。平成26年4月に市立吹田市民病院が独立行政法人に移行するに当たり、設置団体である市から出資金として3,300,844千円を出資しています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

豊能広域こども急病センター事業については、小児の一次救急の整備により、機能分担が図られ、市民病院等の二次救急医療機関の負担が軽減されていることから、継続的な支援が必要であると考えます。豊能二次医療圏救急医療対策事業については、入院を必要とする重症患者を受け入れる二次救急医療機関の運営に対し、4市2町が共同で財政支援を行うことにより、二次救急医療体制の確保・整備が図られており、今後も継続した支援が必要であると考えます。地方独立行政法人市立吹田市民病院については、地域の中核病院として、採算ベースに乗らない救急医療や小児医療等の政策医療を担う重要な役割が求められており、これらの地域が必要とする医療を安定的かつ継続的に提供していくためには、運営費負担金による財政支援が必要であると考えます。